

「マイ助産師制度」PR 映像の素材提供ご協力のお願い

はじめまして、「日本妊産婦支援協議会りんごの木」です。私たちは、妊産婦の立場から妊産婦を支援する、大阪、京都、兵庫の母親グループです。「出産はゴールではなく子育てのスタート」という視点から、バーストラウマ劇の上演や模擬産婦の提供などをとおして、医療関係者や学生、一般市民の方に出産体験の大切さを伝えています。

私たちは、今年の5月から、「Birth for the Future (BFF) 研究会」(別紙参照)の助産師さんや女性とともに、お母さんが心から幸せを感じられる出産・子育てをするには、「マイ助産師制度」が必要ではないかと考えて活動してきました。「マイ助産師制度」とは、産む場所にかかわらず、女性が選んだ助産師さんが妊娠初期から産後まで伴走してくれる制度です。

この「マイ助産師制度」の必要性を多くの人に知ってもらうには、マイ助産師のモデルとなる開業助産師さんとともに出産を経験した方に伝えてもらうのが一番だと考えます。

そこで、皆様にお願ひがあります。マイ助産師制度を提案するシンポジウムを来年3月に東京で開催します。シンポジウムで上映する、「マイ助産師制度」のPR映像に使用可能な写真の提供にご協力いただけないでしょうか。

記

目 的 : 1. “つたえる!”

「マイ助産師」のモデルである開業助産師とともに出産を経験した母親が「マイ助産師」の良さを伝えることで、「マイ助産師制度」の必要性をアピールする。

2. “つながる!”

全国の助産院 OG グループを繋げ、「マイ助産師制度」実現のための協力体制の基盤を創る。

内 容 : 全国の助産院 OG の方に、お母さん達が継続ケアの良さを書いたメッセージ・ボードを見せている様子を写真で撮影・提供していただきます。メッセージ・ボードに書く文の例と写真の例、写真送付先については、別紙『「マイ助産師制度」PR 映像の素材写真』をご参照ください。集まった写真を1~3分間くらいの映像(スライドショー)に編集して、全国のお母さんがマイ助産師制度を求めていることをアピールします。編集は静岡の『お産ラボ』の方が行います。なお、映像上で個人のお名前を出すことはありません。協力してくださった団体の名称をエンドロールで示します。

お産ラボ <http://osanlabo.com/>

上 映 : 2018年3月9日(金)『出産ケア政策会議成果報告・勉強会』@参議院議員会館
2018年3月10日(土)『シンポジウム:女性を大切に作る出産ケアシステム
~マイ助産師制度の実現に向けて~』@国立オリンピック記念青少年総合センター

問合せ : 日本妊産婦支援協議会りんごの木

mail : ringonoki.umuchikara@gmail.com

blog : <http://rin5noki.jugem.jp/>

facebook : <https://ja-jp.facebook.com/RiBenRenChanFuZhiYuanXieYiHuiringonoMu/>